

2017 年 7 月 31 日
(一社) 日本造船工業会



ASEF の NGO ステータスが IMO 理事会において承認

- 7 月 24~27 日に開催された IMO 理事会において、ASEF に IMO NGO ステータスの付与が認められました。本年 11 月に開催される IMO 総会において正式に決定されることとなります。
- 日本造船工業会は、「経営基盤の強化」「技術基盤の強化」「国際協調の推進」を施策の 3 本の柱として推進してきたが、今般 ASEF の NGO ステータスが IMO 理事会で認められたことにより強力な施策手段が新たに加わったことから、これを積極的に活用して「技術基盤の強化」の一層の推進を図っていきたい。
- 今般の IMO 理事会での決定にあたっては、日本政府関係者のご尽力によるものであり、心より感謝申し上げます。また、その過程においては、日本財団の支援を受けて日本船舶技術研究協会が、2007 年より「アジア造船技術フォーラム」を開催し IMO の意義、NGO 設立の重要性をアジア諸国に粘り強く働きかけてきた成果のたまものであり、日本船舶技術研究協会及び日本財団に心より感謝申し上げます。

本件連絡先

(一社) 日本造船工業会 梶田・棟近 TEL 03-3580-1564

(参考資料)

ASEF の概要

1. 名称 : Active Shipbuilding Experts' Federation (ASEF)
2. 設立年月日 : 2015 年 11 月 26 日
3. 機能 :
 - ・ IMO、ISO、IACS の議題を含む技術的事項について、メンバー間の意見交換
 - ・ IMO、ISO、IACS における議題に対し貢献し、意見を述べる
 - ・ 他国際産業界団体との交流発展
 - ・ フォーラムの開催
4. 組織
 - (1) 参加国・組織 : 日本造船工業会、韓国海洋造船工業会、中国船舶工業行業協会、インド造船工業会、インドネシア造船海洋工業会、マレーシア海事産業会、タイ造船修繕工業会、コロンボドックヤード (スリランカ)、ヴェトナム造船企業体、トルコ造船工業会
 - (2) 会長・副会長
会長 : Hwang-Goo KANG 氏 (韓国海洋造船工業会会長)
副会長 : Minjun CHEN 氏 (中国船舶工業行業協会常務副会長)
木内 大助 (日本造船工業会専務理事)
(初代会長 : 村山 滋氏 (日本))
 - (3) 事務局長 : Byeong-Cheol CHOI (韓国)
 - (4) ホームページ : <https://asef2015.com>

(以上)